

Table des Matières

- 1 課 1) 補語人称代名詞
- 2) 中性代名詞
- 3) 所有形容詞、所有代名詞
- 2 課 1) 文型
- 2) 数量の副詞 (peu, un peu, quelques, beaucoup)
- 3) 不規則動詞の直説法現在 (aller, venir)
- 3 課 1) 関係詞 ①
- 2) 疑問詞 ①
- 3) 強勢形人称代名詞 - 人称代名詞一覧
- 4 課 1) 過去分詞
- 2) 直説法複合過去
- 3) 命令法
- 5 課 1) 直説法半過去
- 2) 直説法大過去
- 3) 非人称表現
- 6 課 1) 疑問形容詞、疑問副詞 - 感嘆文
- 2) 受動態
- 3) 数詞 ② (21 以上)

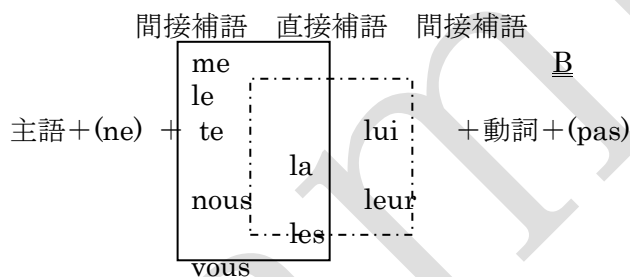
補語人称代名詞  
 中性代名詞  
 所有形容詞・所有代名詞

1.1. 補語人称代名詞(pronoms personnels compléments)

直接目的補語または間接目的補語として用いられる人称代名詞です。だいたい直接目的補語は日本語の「～を」にあたり、間接目的補語は「～に」にあたります。

主語	間接	直接
je	me(m')	me(m')
tu	te(t')	te(t')
il / elle	lui / lui	le(l') / la(l')
nous	nous	nous
vous	vous	vous
ils / elles	leur / leur	les / les

これらの代名詞はいずれも動詞の前に置きます。間接補語と直接補語とを2つ並べて使用する場合、次のAまたはBの組み合わせのみ可能で、それ以外は間接目的補語を Leçon 3 で述べる強勢形にしなくてはなりません。これは上級者でも作文の時について忘れてしまう事が多いので良く覚えておいて下さい。



——— 実線：組み合わせA  
 - - - - 点線：組み合わせB

- a. Il me donne un gâteau. Je le mange.  
 (彼が私にケーキをくれます。私はそれを食べます。)
- b. Vous prêtez ce livre à Jean? – Non, je ne le lui prête pas.  
 (あなたはこの本をジャンに貸すのですか? –いいえ、ジャンには貸しません)
- c. Une ceinture est sur le lit. Je la lui passe.  
 (ベルトがベッドの上にあります。私はそれを彼(女)に手渡します)  
→組み合わせB
- d. Vous connaissez M. Sato? – Oui, je vous le présente.  
 (佐藤さんをご存知ですか? ええ、あなたに彼を紹介しましょう)  
 \*Je vous lui présente. (あなたを彼に紹介しましょう)  
 (\*の印は非文法的な文を示す)  
 この場合、Je vous présente à lui.となります。
- e. Ce sac à dos est léger et pratique. Je vous le conseille.  
 (このリュックサックは軽くて便利です。あなたにこれをお勧めします)  
→組み合わせA

## Exercices 1

1. 次の文を訳しなさい。

- 1) Pierre néglige sa tenue. Sa femme n'en est pas contente.

略

2. 各文を訳し、次に下線部を適切な代名詞に置き換えなさい。

- 1) J'enlève mon chapeau de paille.

略

3. フランス語に訳しなさい。下線部には代名詞を用いること。

- 1) 君はいつも忙しそう(sembler)だ。

—うん。いつも忙しいよ。

- 2) こんにちは。男性用の手袋(gant pour homme)を探しているのですが。

—あいにく(malheureusement)当店には男性用の手袋はありません。(nous を主語にする)

略

## 【コラム1：フランス語にない表現、日本語にない表現（2）】

### 日本語にない表現

今回は、前回とは逆に、フランス語にあって日本語にない表現について見てみましょう。

#### <単数/複数の区別>

日本語では、単に「スカートを買う」、「靴を処分する」などといったとき、それが単数であるか複数であるかは分かりませんが、フランス語で言う場合は、常に単数が複数かを明らかにする必要があります。

また、*lunettes*（めがね）や *chaussures*（靴）のように、原則として常に複数形で用いる単語もあります。

ただし、次の点に注意してください。

- ・ *lunette*：単数形で用いると、「望遠鏡」の意味になる
- ・ *chaussure*：「靴の片方」の意味で用いる場合は、単数形にする  
（例） *perdre une chaussure*（靴を片方なくす）  
*chaussettes*（靴下）や *gants*（手袋）なども同様です。

ところで、英語では、ズボンに相当する *pants* や *trousers* を、1本であっても複数形で用います。これは足が2本あるからという考え方によるものですが、フランス語の場合、*pantalon* はこのような扱いはしません。1本であれば単数形で使います。

一方で、*hanche*（腰）のように、複数形で用いるのが一般的な語もあります。このように、単数/複数の区別は、単に対象が単数か複数かということだけによらず、数え方に対する考え方や習慣が反映されていることもあります。

#### <taille/pointureの区別>

フランス語では「サイズ」に当たる語には *taille* と *pointure* のふたつがあり、対象によって使い分けます。

略